

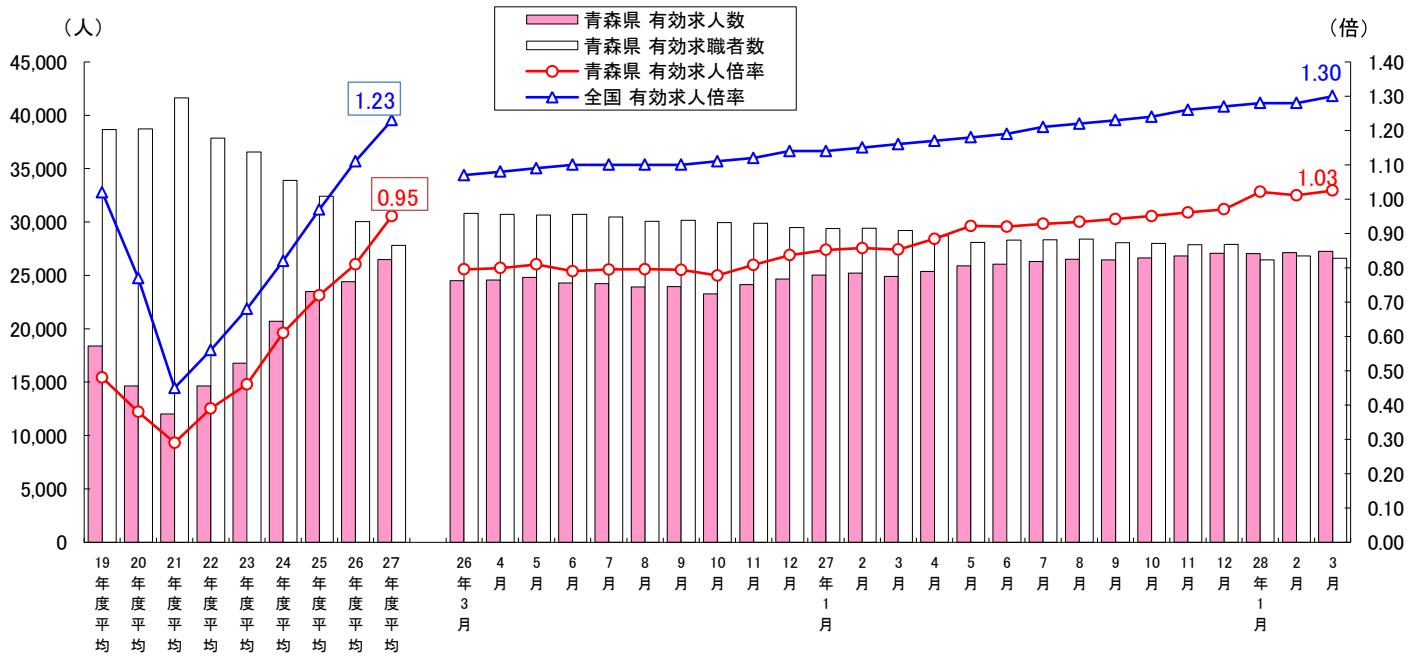
最近の雇用情勢について

(平成28年3月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

3月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.5%増加の27,262人、有効求職者数(同)は0.9%減少の26,593人で、有効求人倍率(同)は前月を0.02ポイント上回り1.03倍となった。

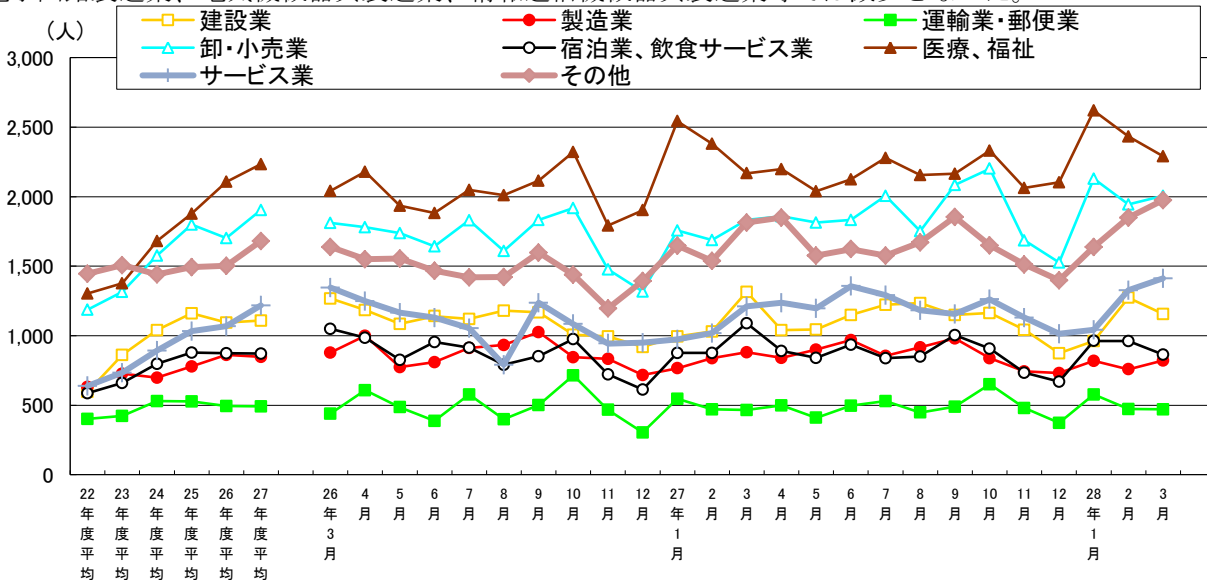


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

3月の新規求人(原数値)は前年同月比2.0%(219人)増加、前月比0.2%(22人)減少の11,000人。

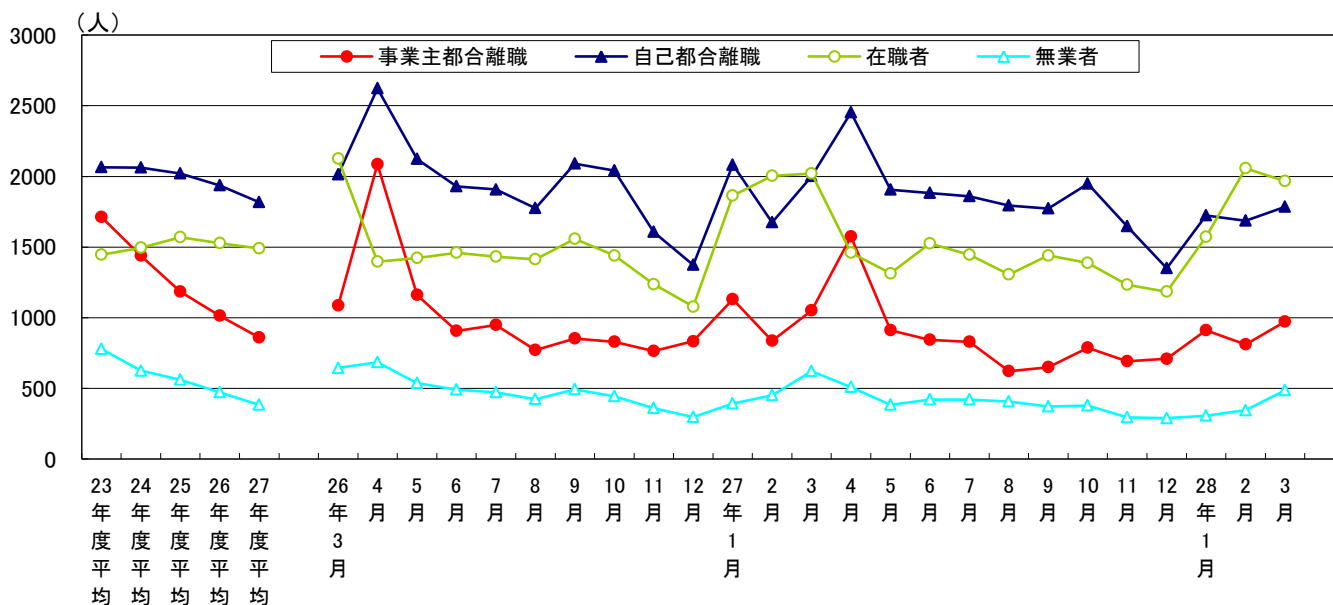
産業別に前年同月と比較すると、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、医療・福祉、サービス業等で増加し、建設業、製造業、情報通信業、金融・保険業宿泊業、飲食サービス業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、印刷・同関連業、窯業、土石製品製造業、業務用機械器具製造業等で増加し繊維工業、木材・木製品製造業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業関係、金属製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

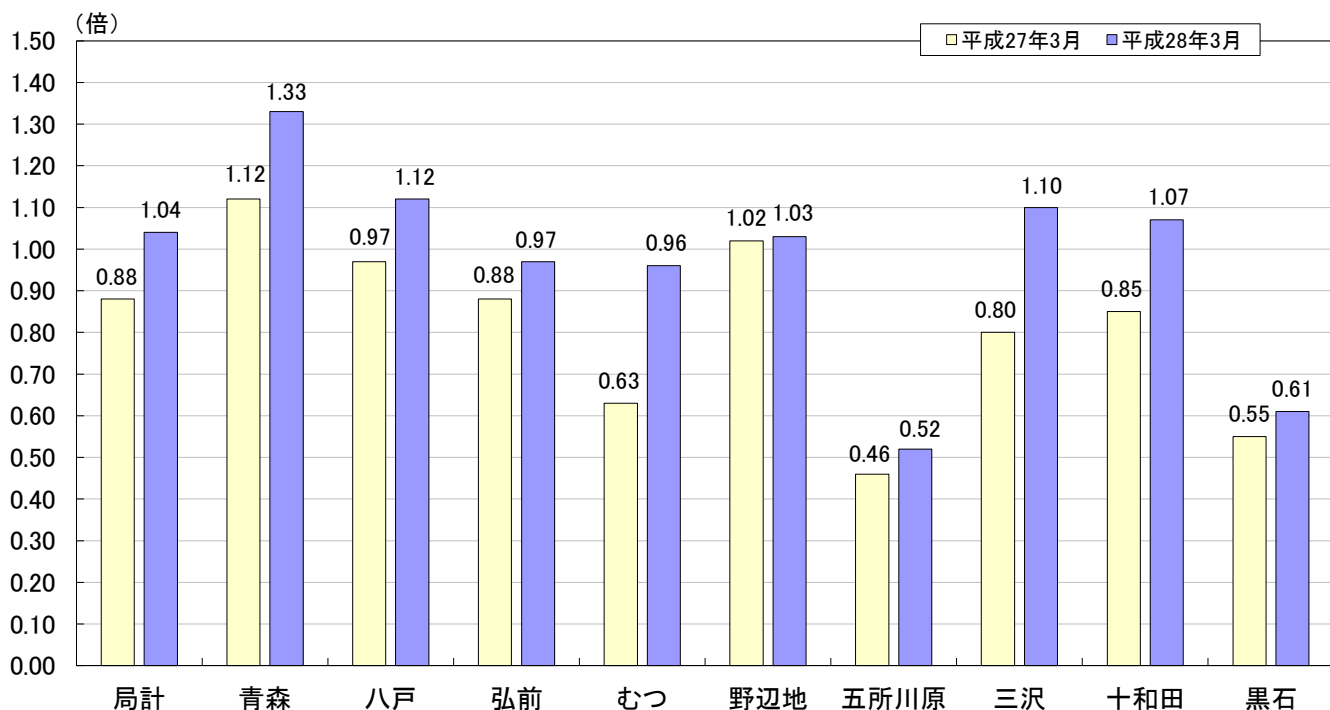
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

3月の新規求職者数は、前年同月比8.7% (505人)減少、前月比6.3% (317人) 増加の5,311人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は2.7% (55人)減少し、離職者は9.9% (314人) の減少、無業者は21.9% (136人) の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は7.6% (80人) の減少、自己都合は10.8% (217人) の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

3月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.04倍となり、前年同月を0.16ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

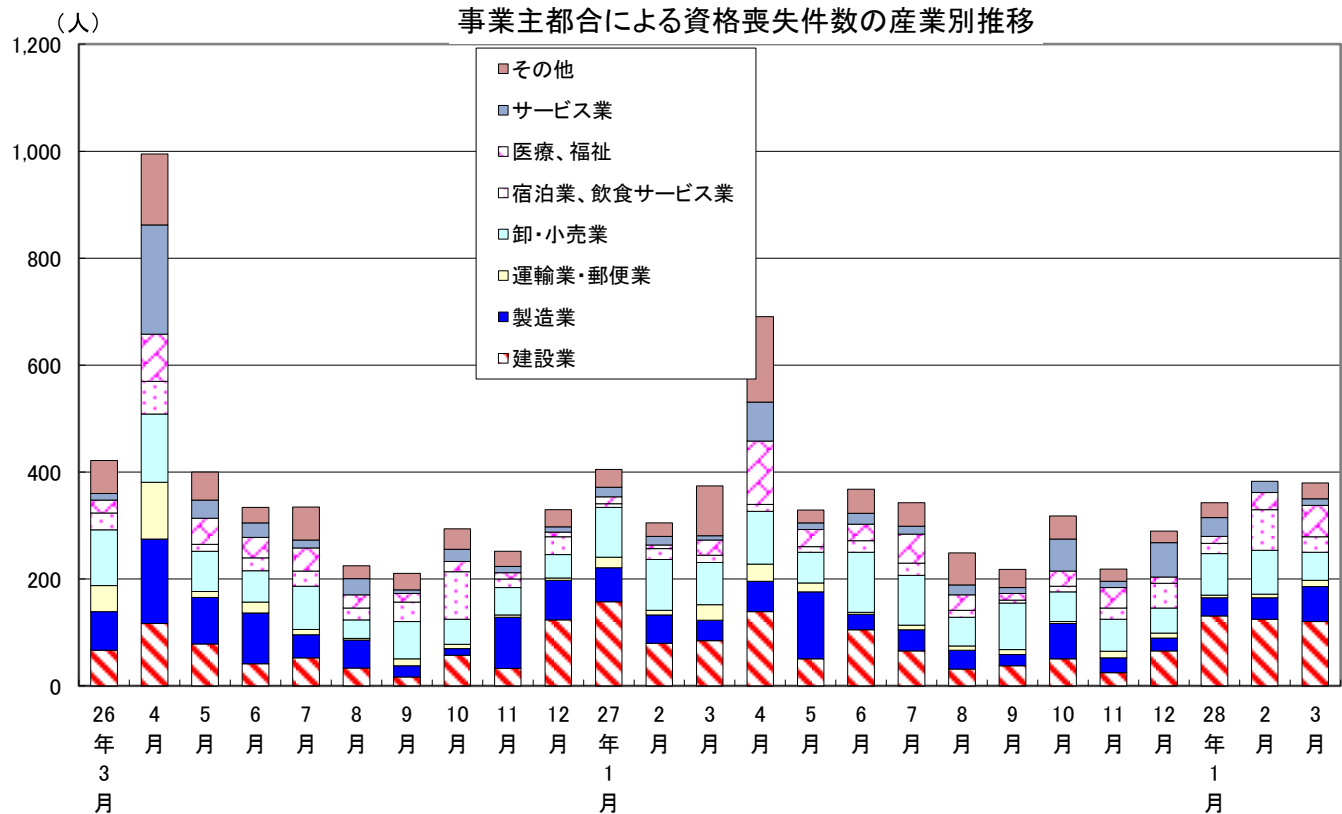
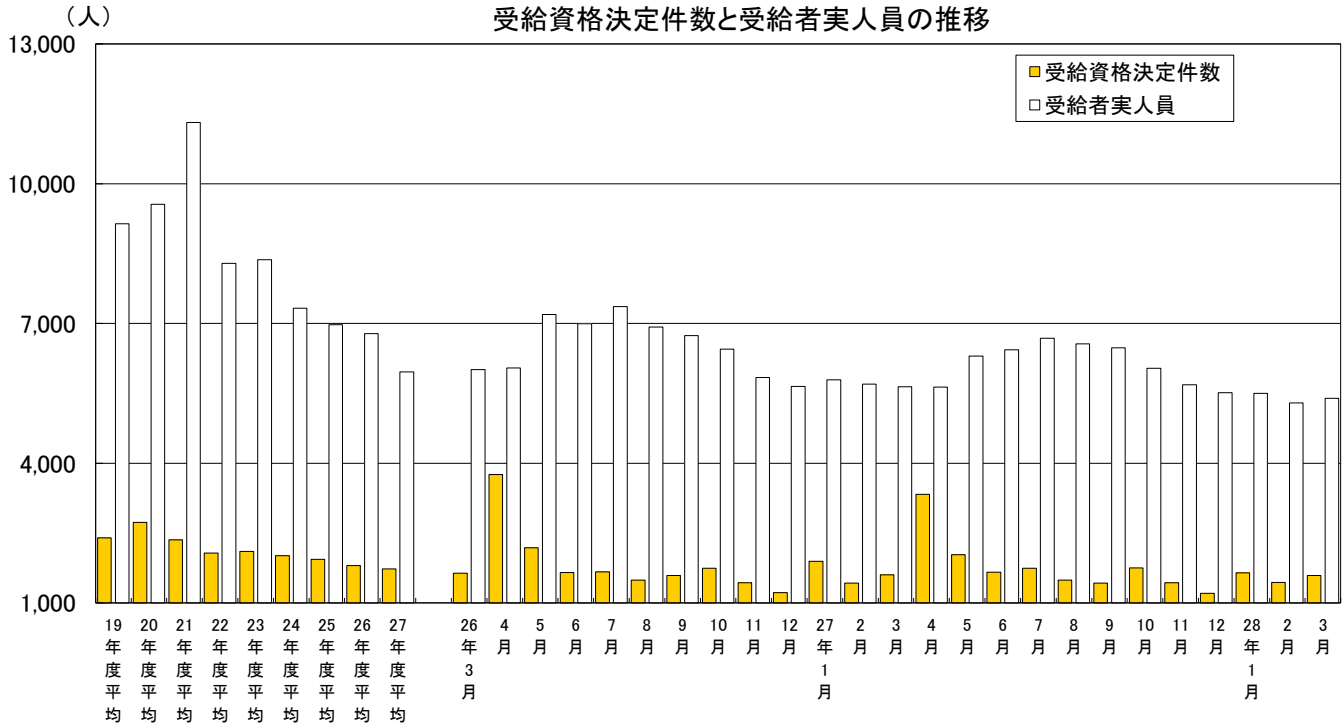


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	27,393	6,695	6,204	4,943	1,329	1,056	2,621	1,546	1,401	1,598
有効求人数	28,543	8,893	6,933	4,800	1,272	1,092	1,370	1,697	1,505	981

V 雇用保険の状況

3月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比4.4%（250人）減少、前月比では1.8%（96人）増加の5,393人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.8%（13人）減少、前月比では10.5%（151件）増加の1,591件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比1.6%（6人）増加、前月比0.8%（3人）減少の380人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。